

経営幹部・工場長のための年間プログラム

工場経営研究会

2025.4 ▶ 2026.3

《第56期》

重要テーマを網羅した講義、事例研究を通して
強い工場づくりの本質を探る

【定例会】 半日16回

各回とも午後1時15分～4時45分
会場 ▶ 大阪府工業協会 研修室

【特別合宿】 2回

各回とも1泊2日間
会場 ▶ 大阪ガス 奥池ロッジ



研究会の目的(ねらい)

- ☑ 工場幹部の責務を再認識するとともに、変革に挑戦するマインドを育てます
- ☑ 時代潮流の変化を知り、的確な状況判断の仕方や問題解決の方法を習得します
- ☑ 事例研究を重ねることで、自社の課題を解決するための策を見出します
- ☑ 関西一円から集まる異業種リーダーとの幅広い人的ネットワークを築きます

参加のおすすめ

企業が中長期的に利益を確保し続けるには、経営幹部や工場長の方々が、工場経営に必要な知識と技術、実行力を身につける必要があります。経営戦略や事業計画の立案、ムダをなくす改善、製造原価を下げる努力、部下の意欲を引き出す工夫、労働災害の未然防止、良品100%、機械設備の安定稼働など、取り組むべき課題は山積しています。そこで、工場経営の重点課題を確実に解決し、工場革新を真に成功させるための戦略や工場各部門における管理と改善の実践的なノウハウの数々を、具体的に解説します。ぜひ、貴社の企業体質強化、工場の合理化、工場幹部の能力開発の指針として本研究会をご活用ください。

豊富な指導実績を誇る講師陣が 経営・管理手法を伝授



● 主催 ● 公益社団法人 大阪府工業協会 TEL:06(6251)1138

参加対象者

製造業の経営幹部・工場長・経営後継者・各部門長など

*参加者のご都合がつかない場合は、代理出席可です。

研修会場(お申込みいただいた方には別途詳細な地図をお送りします)

定例会 ▶ 大阪府工業協会 研修室

大阪市中央区南本町 2-6-12 サンマリオンタワー4階

※御堂筋線「本町」駅より徒歩4分／中央線「堺筋本町」駅より徒歩3分

特別合宿 ▶ 大阪ガス 奥池ロッジ

兵庫県芦屋市奥池南町 47-16《大阪ガス(株)の宿泊・研修施設》

※JR「芦屋」駅・阪急「芦屋川」駅からバス／最寄の停留所から徒歩10分

講師紹介

| | |
|--|--|
| <p>柿内 幸夫 氏 (株)柿内幸夫技術士事務所 代表取締役 東京工業大学卒業後、日産自動車㈱を経て現職。中小企業のドロ臭さと最新鋭の工場ラインの双方を熟知したコンサルタントとして活躍。技術士(経営工学)、工学博士、多摩大学大学院ビジネススクール客員教授。</p> | <p>時任 久雄 氏 もと キューピー(株) 伊丹工場長 1972年にキューピー(株)に入社。長年にわたり、主要工場で製造部門の要職を務める。2011年にはキューピー(株)執行役員に就任し、工場長として手腕を振るう。退社後は、現役時代の多彩な経験をもとに、後進の育成にあたった。</p> |
| <p>松下 武司 氏 中小企業診断士 / 経営コンサルタント 大学卒業後、住宅機器メーカーに入社し営業部門に従事、全国各地で責任者を歴任。設計事務所、ゼネコン、工務店等様々なお客様へお客様視点でのマーケティング戦略を展開。現在は独立し、経営コンサルタントとして活躍。</p> | <p>上田 正裕 氏 社会保険労務士 上田事務所 代表 「お客様の成長・発展に貢献し、そこで働く社員さんにも幸せになってもらい、あわせて自分たちも成長・発展し、幸せになる！」を使命として、主に中堅・中小企業の『コンプライアンス対策』『人事制度策定』等の業務に注力している。</p> |
| <p>岡田 能竜 氏 岡田フィナンシャルコンサルティング 代表/税理士 大手コンサルティング会社で、およそ10年にわたり事業再生・事業承継等の業務に従事。その後、独立し『中・長期的な視野に基づくCF改善』をベースに、タックスプランニング、事業承継支援、事業再生支援等で活躍中。</p> | <p>大谷 秀幸 氏 もと オムロン(株) コンプライアンス部長 1977年オムロン(株)に入社。法務部門、コンプライアンス部門等のマネージャとして様々な経営課題に携わり、現在は中小企業支援の傍ら、短期大学講師など幅広く活躍している。著書に「企業と法を見る目に確かさを」など。</p> |
| <p>巖真 基 氏 購買コンサルタント/もと 日産自動車(株) 大学卒業後、日産自動車に入社。新車の開発購買・現行車部品の原低活動、LCC 調達等で手腕を振るう。各部門の要職を歴任後、部品メーカー数社での購買統括業務で実績を上げる。現在は独立し、コンサルタントとして活躍。</p> | <p>佐野 宗章 氏 佐野MFGコンサルティング 代表 1983年に日産車体㈱に入社。主に設計部門に携わった後、生産技術部門で現場管理を指導し、湘南工場の工場長として日産グローバルトップ工場に成長させる。現在は独立し、製造現場を中心にコンサルタントとして活躍。</p> |
| <p>岩崎 仁志 氏 (有)エイチ・アイ・プランニング 代表取締役 大手外資系企業のマーケティング責任者として活躍後、物流業界に転じ、大手製造・流通企業に対し物流ソリューションの支援を行うと同時に、数多くの物流企業の経営指導にあたる。現在は、物流コンサルタントとして活躍。</p> | <p>吉川 達志 氏 技術コンサルタント 1980年に大手製鉄会社に入社。銑鉄部原料工場長などを歴任。その後、コンサルティング会社へ転職。日本および海外の鉄鋼・銅精練・鍛造・自動車・鉄道など多くの事業所の指導を実施。幅広い指導経験を持つ。</p> |
| <p>石川 保 氏 IGQクリニック 代表/品質コンサルタント 1978年、松下電器産業㈱に入社。一貫して電子部品・デバイスの品質保証業務および信頼性技術開発に従事。松下電子部品㈱品質管理部長などの要職を歴任したのち、2015年に独立。現在は、品質改善コンサルタントとして活躍。</p> | <p>川端 正詳 氏 川端技術士労働安全事務所 所長 1977年に、神戸大学工学部を卒業後、工業炉メーカーに就職。その後、空調メーカーに転職し、化学プラントの設計・施工・設備管理等を行う。2021年より現職、コンサルタントとして幅広く活動している。</p> |
| <p>椎野 由裕 氏 椎野経営技術事務所 代表 メーカーでロボット化・FA化を推進、海外工場の生産改善、シンクタンクのコンサルタントを経て、国際物流企業でサプライチェーンの最適化に従事。その後、技術士、労働安全・労働衛生コンサルタントとして活躍。</p> | <p>川勝 宜昭 氏 (株)DANTOTZ consulting 代表取締役 日産自動車㈱に入社。企画室次長、南アフリカ日産代表を歴任。その後日本電産に転じ、日本電産シボウラ㈱専務、日本電産ネミコン(株)社長として経営再建を果たす。営業と生産部門を同時に指導できる数少ない実力派コンサルタント。</p> |

参加申込書 2025年度 工場経営研究会

No.8314-4342 RS

| | | | |
|--------------------|-------------------|----|-----|
| 会社名 | / 従業員数: 名 | | |
| 所在地 | (〒 -) | 電話 | () |
| 事業内容 | | | |
| 申込ご担当者 所属・役職・氏名 | 申込ご担当者 メールアドレス | | |

申込担当者の方に、請求書発行の通知メールを送ります。指定のURLにアクセスし電子ファイルをダウンロードしてください。

| | | | | |
|------|-------------|----|----|---|
| 参加者① | 所属・役職名 | 氏名 | 年齢 | 歳 |
| | E-mail アドレス | | | |

| | | | | |
|------|-------------|----|----|---|
| 参加者② | 所属・役職名 | 氏名 | 年齢 | 歳 |
| | E-mail アドレス | | | |

お申し込みは ▶ FAX 06-6245-9926 公益社団法人 大阪府工業協会

<https://www.opmia.jp/>
ホームページからも参加申込できます

※申込書にご記入いただいた内容は、事務処理(請求書の発行等)・担当講師への参加者名簿提示のほか、研修案内の送付に利用させていただく場合がございます。なお、内容の訂正・利用停止をご希望の際は、当協会までご連絡ください。

1 工場幹部の心得 合宿

4月21日 日 13:00～22日 四 12:00 講師 柿内 幸夫 氏

- 1年間の研究会と教養講座との違いを意識しよう(プロローグ)
- 日本の“ものづくり”における変化／変化に対する考え方
- 身につけるべき『ものの見方・考え方』
- 工場幹部の役割 ・生産計画の達成 ・経営力の向上
- 工場主導で利益を向上させるメカニズム ・キャッシュフロー改善
- 幹部としての人望 ・明るく元気に ・人望を身につけるには？
- 技術に対するこだわり／経営に対するこだわり *etc.*

| | |
|-------------|----------|
| <初日> | |
| 13:00 | 現地集合 |
| 13:10～18:00 | 講義 |
| 18:00～19:00 | 夕食 |
| 19:00～20:30 | 講義 |
| 20:30～21:30 | ディスカッション |
| <2日目> | |
| 7:15 | 朝礼 |
| 7:30～8:15 | 朝食 |
| 8:15～10:00 | 講義 |
| 10:00～11:00 | ディスカッション |
| 11:00～12:00 | 講義・まとめ |
| 12:00 | 現地解散 |

兵庫県六甲山のふもとに建ち、四季折々の豊かな自然と調和する施設



大阪ガス 奥池ロッジ

宿泊は1名1室です
第11回の合宿研修も同じスケジュールです。

2 経営戦略と事業計画 定例

5月13日 四 13:15～16:45 講師 松下 武司 氏

- 経営戦略で会社の未来を実現する
 - ・今日における経営戦略の重要性
 - ・経営戦略の全体像と策定プロセス
- 経営戦略に基づく効果的な事業計画づくり
 - ・納得性の高い事業計画の策定ポイント
- 成果につながる事業計画の展開
 - ・計画―実践―チェックのサイクルを回す
 - ・経営マネジメントのポイント

3 決算書の読み方 定例

5月26日 日 13:15～16:45 講師 岡田 能竜 氏

- 工場経営で、なぜ決算書が必要なのか
- ビジュアルで理解する事業活動と決算書の関係
- 損益計算書の見方、貸借対照表の見方
- 決算書を使った財務分析の手法
 - ・決算書からこんな情報が読み取れる
 - ・設備投資とお金の調達、投資判断
- 財務分析数値から工場経営の課題を考える

4 管理会計 定例

6月9日 日 13:15～16:45 講師 岡田 能竜 氏

- 売上・費用・利益の関係を把握する
 - ・変動費と固定費
 - ・損益分岐点の求め方
 - ・直接原価計算の考え方
- 変動費と固定費の性質の違いを把握する
 - ・利益構造の変化
 - ・値下げが利益に与える本当の影響
- 管理会計の視点で考える受注可否判断
 - 何を基準に受注可否を判断すべきか
 - ・原価割れでも受注して良い？
- 利益向上に向けての注意点

5 原価低減 定例

6月23日 日 13:15～16:45 講師 柿内 幸夫 氏

- 原価管理の重要性を理解する ・真の原価管理と見せかけの原価管理
- 原価低減活動のポイント ・経営トップが中心になった全社活動
 - ・製造部門は利益の根源“宝の山”
 - ・サポート部門のコスト見直し
- 原価に関する誤解 ・まとめて作る、買う、運ぶとコストが下がる？
 - ・内製と外製の違いが原価に及ぼす影響
 - ・高額な設備は使わないと損？
- 全員で取り組む原価低減活動 ・情報の共有化
 - ・多能工化によるボトルネックの解消
 - ・管理にかかる費用の削減

6 調達・購買戦略 定例

7月14日 日 13:15～16:45 講師 巖真 基 氏

- 調達・購買における工場幹部の役割と位置づけ
- 調達・購買改革と購買マン育成のポイント
- 生産戦略と購買戦略の効果の最大化
- スマイルカーブと開発購買
- 協力工場とうまく連携した外注戦略
 - ・外注品の品質管理／原価管理／納期管理のツボ
 - ・アウトソーシング先の開拓のやり方/管理方法

7 工場内外の物流戦略 定例

7月28日 日 13:15～16:45 講師 岩崎 仁志 氏

- 製造業がサプライチェーンマネジメントに取り組む必要性
- 製造現場における構内物流改善を徹底的に考えよ
 - ・構内物流の課題
 - ・構内物流改善のポイント
 - ・構内物流における安全の重要性
- 工場外物流(製品物流)における課題と解決策
 - ・工場外物流の理想形
 - ・物流コスト削減に必要なこと
 - ・物流課題と解決手法
- 失敗しない物流アウトソーシング戦略
 - ・物流アウトソーシングの課題と進め方
 - ・物流アウトソーシングの成功と失敗事例

8 リードタイム短縮 定例

8月25日 日 13:15～16:45 講師 柿内 幸夫 氏

- 生産リードタイム短縮だけでは生き残れない時代が来た
- 工場幹部が知っておくべきリードタイム短縮の具体策
 - ・ロットサイズの縮小
 - ・見える化
 - ・流れの6段階レベル向上
 - ・お客様との情報連携
- リードタイム短縮のための改善
 - ・段取り時間の短縮
 - ・工程の連結
 - ・多能工化
 - ・設計改善
- 時代の変化とリードタイム
 - ・society5.0(IoT・ロボット・AI)
 - ・オープンイノベーション
 - ・超高速化

9 品質管理・品質保証 定例

9月8日 日 13:15～16:45 講師 石川 保 氏

- 品質トラブル発生時対応の成功例と失敗例
- 工場幹部が実践する品質管理・品質保証とは
 - ・目指す方向性
 - ・「品質第一」をどのように打ち出し、リードする？
 - ・品質経営の成功例／失敗例
- 品質改革／改善の進め方
 - ・QC責任者10訓の実現
 - ・工場幹部が行うべき行動とは？
- 主要ステップでの品質経営キープポイント
 - ・新製品開発段階
 - ・製造段階
 - ・顧客／市場対応段階
 - ・グローバル品質経営

10 安全衛生 定例

10月6日 日 13:15～16:45 講師 椎野 由裕 氏

- 労働災害は事業者・管理監督者・労働者...誰の責任か？
 - ・労災の法的措置
 - ・労働契約法
 - ・工場幹部に要求される安全配慮義務
- 工場幹部、安全衛生委員会の役割と実践的アプローチ
 - ・事業者の責任と事業所の責任
 - ・安全衛生管理者の職務との能力意欲
 - ・労働災害原因の構図
 - ・顕在リスクと潜在リスク
- 職場の安全意識を活性化させる、効果的な労働災害防止
 - ・人は忘れ、慣れ、横着する。設備は故障、老朽化する
 - ・危険予知訓練の徹底

11 人材育成 合宿

10月16日 日 13:00～17日 金 12:00 講師 時任 久雄 氏

- 全員を巻き込んで成果をあげる工場経営
 - ・工場の数字をあげる(目標を達成する)ことは難しくない
 - ・必ず1年で効果が出る仕掛け
 - ・全体朝礼で伝えるべきこと
- 工場幹部のあるべき姿とマネジメントの実践
 - ・会社の目的と職場の目標は理解しているか、納得しているか
 - ・トップの目標を落とし込むな！共有化せよ
 - ・求められる3つのマネジメント
 - ・部下は見ている・・・部下にプレッシャーをかけつつ安心させる指導法
 - ・部下にキチンと仕事をさせるマネジメントの勘所
 - ・工場幹部が陥る、若手の主体性を阻む畏
- 部下の気持ちのつかみ方
 - ・人間関係、仕事の内容、労働時間・・・仕事上、最もストレスを感じるものは？
 - ・部下に失敗させるな！失敗させないための準備をしよう
 - ・メンバーにそれぞれの役割を認識してもらう仕組みづくり

- 部下のモチベーションを高めるために幹部がするべきこと

グループワーク&ディスカッション

5～6名のグループ分けを行い、討議テーマに沿って徹底的に議論して課題解決策を導き出します。
※ 第11回のスケジュールは、「第1回」合宿研修と同じです。

12 労務管理とメンタルヘルス対策 定例

11月4日 四 13:15～16:45 講師 上田 正裕 氏

- 管理者として押えておきたい労務管理のポイント
 - ・トラブルから考える労務管理の重要性
 - ・現場に潜む労務管理上のリスク
- 労働基準法、労働安全衛生法違反に伴うリスク
 - ・労基署からの是正、改善事項と送検事例
 - ・労災認定と安全配慮義務違反
- 非正規社員(パート、再雇用、派遣社員)に纏わるリスク
 - ・同一労働同一賃金/待遇差と説明義務
 - ・もめる再雇用/もめない再雇用
 - ・違法派遣による労働契約申込みなし制度の適用
- ハラスメント発生によるリスク(メンタルヘルス対策)

13 コンプライアンス経営 定例

11月17日 日 13:15～16:45 講師 大谷 秀幸 氏

- コンプライアンス経営の意義
 - ・不祥事防止から会社の持続的発展へ
- 内部統制とリスクマネジメントの実務
 - ・自社に適した内部統制システムの構築
 - ・全社的リスクマネジメントの推進
- 工場経営に関わる主なコンプライアンスリスク
 - ・情報セキュリティと秘密保持
 - ・下請取引規制
 - ・知的財産権侵害
 - ・製造物責任
 - ・取引先の倒産 *etc.*

14 技能伝承と多能工化 定例

12月8日 日 13:15～16:45 講師 佐野 宗章 氏

- 技能伝承・多能工化はなぜ必要か
- 自社で取り組む技能伝承・多能工化レベルアップ戦略
 - ・設備投資と人材投資の差
 - ・はじめは短期決戦、実績で勝負
- 失敗しない多能工育成の進め方
 - ・作業標準書、ツールの整備
 - ・多能工マップの活用
 - ・自ら競って多能工化を望む環境づくり
- 多能工化と経営の結びつき
 - ・ドラッカーと多能工化
 - ・人材育成と多能工化
 - ・これからの経営と多能工化

15 設備保全 定例

1月19日 日 13:15～16:45 講師 吉川 達志 氏

- なぜ機械設備の故障は起きるか？ 工場幹部の視点で考える
 - ・故障と故障予備軍「悪玉微欠陥」
 - ・設計仕様と劣化
 - ・TPM活動
- 設備保全体制を構築する3つのステージ
 - ・第1ステージ:故障ゼロ化
 - ・第3ステージ:設備保全の改善、進化
 - ・第2ステージ:故障ゼロを維持する設備保全体制をつくる
- 保全費をマネジメントする勘所
 - ・保全費の構造
 - ・予算を作る、実績をフォローする
 - ・月報を作ろう

16 工場の環境経営 定例

2月9日 日 13:15～16:45 講師 川端 正詳 氏

- 環境対策の必要性
 - ・環境問題の変遷
 - ・企業の環境課題
 - ・社会的責任
- 環境問題解決の手段
 - ・政府、行政の取り組み
 - ・工場の取り組み
 - ・個人の取り組み
- 主な環境法規制
 - ・公害防止関連
 - ・エネルギー関連
 - ・化学物質関連
 - ・循環型社会形成関連
- 工場幹部が実践する環境マネジメント

17 製販一体の工場経営 定例

2月24日 四 13:15～16:45 講師 川勝 宣昭 氏

- 混迷の時代に、幹部としてどのように会社組織を変革させるか
- 工場経営を変える、組織風土の持つ4つの特性・法則
 - ・組織は粘弾性体である
 - ・組織は慣性の法則に支配されている
- 工場経営の戦略に「営業のカルチャー改革」を含める意味
- 工場におけるカルチャー改革の大技・小技
- 明日から取り組む、製販一体の工場経営(事例研究)

18 イノベーションを生み出す工場経営 定例

3月9日 日 13:15～16:45 講師 柿内 幸夫 氏

- 変化の時代に工場幹部がするべきこと
- 全員参加型の経営改善が起こすイノベーション
- 工場巡回パトロールがもたらす良い循環
 - ・現場に緊張感を与え、悪いところを指摘しよう・・・どこを、どのように？
 - ・工場での有意義な雑談がイノベーションを生み出す!?
- 成功事例発表「私はこうやって生産革新を実現した！」
- 競合他社を圧倒する強靱な「ものづくり企業」となるために